

登米市教育委員会 8 月定例会議 会議録

会議の名称	令和 7 年第 8 回登米市教育委員会 8 月定例会議	
開催日時	令和 7 年 8 月 29 日（金）	
	午後 2 時 30 分 開会	
	午後 4 時 35 分 閉会	
開催場所	登米市役所 中田庁舎 1 階 101 会議室	
教育長氏名	教育長	小野寺 文晃
出席委員氏名	委員	高橋 正則
	委員	佐竹 美香
	委員	須藤 勝子
	委員	佐々木 静
	委員	佐々木 伸雄
欠席委員	なし	
傍聴者	なし	
事務局職員氏名	教育部長	新田 公和
	教育部次長兼教育総務課長	阿部 信広
	教育部次長兼学校教育管理監	鹿野 征美
	学校教育課長	猪股 勝徳
	生き生き学校支援室長	高橋 利恵
	学校再編推進室長	安部 保男
	生涯学習課長	千葉 敬子
	文化財文化振興課長	沼田 芳明
	教育支援センター所長	箱石 雄悟
	西部・北部学校給食センター所長	津藤 順
	南部・東部東和・東部津山学校給食センター所長	菊地 武
	生涯学習センター・石ノ森章太郎ふるさと記念館所長	高橋 紀元
書記	教育総務課 課長補佐	堀内 貴光
議題	報告第 17 号	一般事務報告について
	報告第 18 号	登米市教育委員会の教育行政に関する点検及び評価について
	議案第 23 号	令和 7 年度登米市一般会計補正予算（第 4 号）に対する 意見聴取について
会議結果	報告第 17 号	報告
	報告第 18 号	報告
	議案第 23 号	決定

() は、発言なし部分

議題・ 発言・ 結果	小野寺教育長	ただ今から、令和7年第8回登米市教育委員会8月定例会議を開会します。開会時間は、午後2時30分とします。
	小野寺教育長	前回の会議録の承認については、事前配付により、内容を確認していただいていることとし、説明を省略させていただきたいと思います。
	小野寺教育長	会議録の内容についてご異議ありませんか。 (「なし」の声あり)
	小野寺教育長	ご異議がないものと認め、承認することとします。
	小野寺教育長	会議録署名委員の指名を行います。 私から指名してよろしいでしょうか。 (「はい」の声あり)
	小野寺教育長	ご異議がないようですので、 <u>2番 佐竹 美香 委員、</u> <u>3番 須藤 勝子 委員</u> にお願いします。
	小野寺教育長	日程第1、報告第17号「教育長の一般事務報告について」を上程します。 「教育長の一般事務報告について」、私から報告いたします。
	小野寺教育長	(議案朗読)
	小野寺教育長	(教育長の一般事務報告について、別紙資料に基づき報告)
	小野寺教育長	教育長の一般事務報告が終わりました。この件についてご質問はありませんか。
	高橋正則委員	学力向上対策委員会は、委員の構成等も変わったと聞いている。どのような議論や協議がされたのか。 教育フォーラムの配信が今日までとなっていた。参加、視聴した先生方の感想等わかる範囲で教えてほしい。 よく話題になる図書館等の会議は、もう少し詳しい説明をいただきたい。
	箱石教育支援 センター所長	学力向上対策委員会では、今年度から教育支援センターが主導し、宮城の算数教育改善プラン事業のモデル校の先生方が全員入るよう委員構成を見直しました。 今年度は「学力向上対策」一本に絞って開催することにしており、改善が必要な小学校5年生の算数を含めた具体的な教科で、どんな対策が可能か話し合っていました。 提案の中には、単元デザイン構想を意識した授業作りと授業実践、各校の好事例を集めて周知する等の提案があり、具現化に向け検討していくことにしています。 教育フォーラムでは、長崎県立大学の浅田学長から講演いただきました。アンケートは、8割程度の回答があり、ほとんどが好意的な評価となっています。 次回開催への意見では、2時間の研修時間には休憩があった方がよい、資料は事前配布してほしいという意見がありました。

議題・ 発言・ 結果		また、講師先生の経験談等が聞きたかったという意見がありました。 小野寺教育長 図書館等の重要な会議については、概要版で準備させていただきたいと思う。 22 番の県立高校将来構想に係る懇話会について、少し説明させていただきます。 配付資料に意見交換の中で確認した内容を記載しました。 会議では、PTAの代表者から小学校、幼稚園の代表者にも聞いてもらった方がよいのではないかとという意見がありました。 圏域に関しては、教育事務所単位で見直しをしていくという説明でしたが、これもまだ検討段階のようです。 私からは、毎年開催している高校受験説明会で保護者対象に情報提供するようお願いしました。 須藤委員 7 番の図書館協議会では、どのような話がされたのか。 千葉生涯学習課長 図書館協議会では、今期から委員をお願いする 9 名の方に委嘱状を交付しました。委員の選任方法を各分野からの選任に変更したので、メンバーががらりと変わりました。 会議では、図書館構想、図書館機能検討委員会での検討結果等について説明しました。 今後、新たな図書館整備に向け、機能やサービス面の具体化について話し合いを行うことにしています。 小野寺教育長 ご質問はありませんか。 (「なし」の声あり) 小野寺教育長 ご質問がないようですので、報告第 17 号「一般事務報告について」は、以上といたします。 小野寺教育長 日程第 2、報告第 18 号「登米市教育委員会の教育行政に関する点検及び評価について」を上程します。 事務局から説明をお願いします。 新田教育部長 (議案朗読) 阿部次長兼教育総務課長 (議案内容を別添資料に基づき説明) 小野寺教育長 事務局の説明が終わりました。ご質問はありませんか。 高橋正則委員 11 ページ、施策の目標で令和 7 年度目標値が 100%を超える設定してるのはなぜか。 不登校児童生徒の学びの保障の割合が、66.6%、71.3%と細かい数値が出ているが測定の方法は。 高橋活き生き学校支援室長 目標値が 100%を超えているのは、全国平均との対比をしており、これを上回れば 100%を超えることになります。 不登校児童生徒の学びの保障の割合については、県の調査に同じ項目があり、30 日以上欠席している児童生徒が、外部機関での学習、学校での別室学習、学校のプリント等で放課後に学習しているなど、何
------------------	--	---

議題・ 発言・ 結果		らかの手立てを講じているかどうかという調査データを基に記載させていただきます。
	高橋正則委員	14 ページの幼児教育の充実、令和 7 年度事業の方向性等で、研修会や授業についての記載がある。 先日、幼保小の連携をテーマにした会議に参加したが、登米市でもなかなか上手くいかないという現状があるようだが、私はスタートカリキュラムの充実が必要だと思う。 特に私立のこども園や保育所が増えてるので、登米市版のスタートカリキュラムを作成して、小学校入学後の教育活動などを早い段階で示すような取り組みはどうだろうか。 施策の目標で令和 7 年度の目標は 100% ではないか。
	小野寺教育長	スタートカリキュラムは、圏域会議でテーマになっていました。 県内市町村の多くが実施していますが、公立では、認知、周知されていますが、私立へのアプローチに苦慮しているようです。 登米市では、国公立幼稚園こども園協議会の研修会に悉皆で小学校の先生方が参加しています。 小学校の先生方に幼稚園やこども園、保育園での子供たちの様子を实际見て、感じ取ってもらうのが目的です。 スタートカリキュラムについては、これから知恵を絞って検討を重ねていく必要があると思います。 ご意見いただきました目標値については、今後対応させていただきたいと思います。
	佐々木静委員	数年前まで、公立幼稚園では、小学校の先生の受入準備はしてるが、来てもらえないというもどかしさを感じていた。 昨年から小学校の先生方に参加していただいているという話を聞いて、少しずつ連携が深まればいいなと思う。
	高橋正則委員	16 ページ、学習支援員の配置で、特別支援学校との交流の目標値が今年度 100%、来年の目標を 80% に下がるのはなぜか。 学習支援の配置に対する満足度についても、今年 69.9% で来年は 60% に下がっている。 満足度を指標にしているが、誰の満足度なのか。 満足度を指標にすると検証するのが難しくなるので、別な表現にするとか、無くてもいいのではないか。
	阿部次長兼教育総務課長	令和 4 年度に令和 7 年度までの計画目標値として、長期的に見込んだ数値となります。 目標値の設定については、いただきましたご意見を参考にさせていただき、次回から工夫させていただきます。
	高橋正則委員	23 ページ、多く方にボランティア登録していただき、活発に活動していただいているのはありがたいことだと思う。 その活動について、地域間の格差はないのか。指標には表れないが、教育委員会として町域ごとのデータを持っていた方がいいのではないか。 25 ページ、公民館の運営について、以前も話したが本来は公民館ごとに運営協議会というのがあるべきだと思う。社会教育委員さん方の力を借りて、公民館ごとに協議をしていく組織への見直しを進めていくべきだと思う。 26 ページ、スポーツ少年団加入率について、部活動地域移行にお

議題・ 発言・ 結果		いては、中学生はスポーツ少年団、スポーツクラブどちらの加入でも構わないのか。両方に加入しても構わないのか。 この目標値についても工夫が必要だと思う。 例えば、スポーツ少年団とスポーツクラブを合わせて、「中学生の9割以上は、少なくともどちらかに加入していることを目標とする」等にした方がいいのではないか。
	猪股学校教育課長	現在、スポーツ少年団は、学校の部活動とは異なるものとして、団体の活動はスポーツ少年団で行っています。 市内には、スポーツ少年団の活動を含めて、スポーツクラブで登録して事務局を担ってるクラブもありますので、スポーツクラブにスポーツ少年団の人数がカウントされているクラブもあります。 また、全くスポーツ少年団とは別にスポーツクラブとして活動しているところもありますので、9つの町では違うことになります。 地域移行のクラブについては、土日の部活動をやらない場合に、クラブを立ち上げて活動していくことになります。 その地域クラブの活動として中体連に参加する場合は、県の中体連に登録申請をして承認されれば中体連の参加が可能となりますが、学校に同じ種目の部活動がある場合は、学校の部活動で出ることになります。 また、各競技ごとに参加資格が要綱で定められているので、その要綱に基づいて参加することになります。 個人競技の場合で柔道部や剣道部が学校になく、道場等に所属している場合は、個人が出場しやすいように所属する道場で出場しています。
	佐々木伸雄委員	中総体に出る場合は、学校単位になるということですが、登録は所属する道場でも学校で出場することになるのか。
	猪股学校教育課長	学校所属ではなく、地域クラブを県に登録して出ることになります。令和7年度は、団体競技のパレーとサッカーでスポーツクラブとして出場しています。
	小野寺教育長	学校では団体競技、土日は個人競技のスポーツクラブに所属するケースも想定されます。中総体に両方の競技に出場することはできませんので、どちらかを選んで出場することになります。
	高橋正則委員	どちらにも所属しない子供も出てくるのではないかと心配している。先ほどの指標でスポーツ少年団かスポーツクラブのどちらかに所属して活動している中学生の割合を増やすことを目標にしたらいと思うが。
	小野寺教育長	いただきましたご意見を参考にさせていただきながら、様々な場で話をさせていただきたいと思います。
	佐竹美香委員	栗原市では、中学校の部活動に入らなくてもいいと聞いたことがある。登米市ではそういう話は出ているのか。
	高橋活き生き学校支援室長	登米市では、基本的には全ての生徒さんに部活動に入っていただくよう進めていただいております。
		ただし、何かしらの事情で、違う競技や団体で活動したいといった場合は、学校で相談に応じており、部活動に所属していないという生徒もおります。

議題・発言・結果		現在、部活動に入らなくてもいいかといった学校からの相談等は出ておりません。 佐竹美香委員 保護者の方から聞く話では、部活動に入らなくてもいいという話が栗原や仙台でされていて、今後、登米市もそうなるのか。 高橋活き生き学校支援室長 昨日、県の担当者に来ていただいて指導者研修会を行いました、県内の中学校で令和6年度で6割が部活動を任意加入にしているというお話がありました。 小野寺教育長 そういう時代の流れになっているんだろうと思いますが、先ほどお話がありましたが、3年間どこにも所属しないで卒業していく子供たちが増えてきたらどうなんだろうと心配になります。 子供たちの興味関心に応えられるだけの受け皿が地域に整っていれば、任意加入もいいと思うが、もう少し体制が整った段階で任意加入にすべきであり、地域ごとに部活動への考え方やこれまでのあり方などを踏まえて進めていくべきだと思います。 佐竹美香委員 報告書の施策の目標値の考え方で、統計の考え方に少し違和感を感じる。人数だとわかりやすい目標値になるものと、パーセンテージで表した方がいいものがあると思う。 目標値の表し方をもう少し工夫した方がいいのではないかなと思う。 小野寺教育長 ありがとうございます。貴重なご意見をいただきましたので分かりやすい表記になるよう見直しをかけていけるようにしたいと思います。 高橋正則委員 38 ページ、社会教育分野のところでは表現の仕方だと思うんですが、コミュニティスクールを社会教育の方で進めていくような表現になっている。 コミュニティスクールの捉え方は難しいと思うが、学校教育に主体性があるのかなと思います。 社会教育は、学校支援ボランティア活動などで側面から支援する形が社会教育で実践する部分ではないかと感じている。 もう少し表現を変えると良いのではないかなと思う。 千葉生涯学習課長 学校、家庭、地域が連携・協働して子供を育てる環境づくりの分野を社会教育の方で整理させていただきました。 これは、目標値の設定を学校支援ボランティアの登録者数を使用しているからです。 ご指摘のとおり、コミュニティスクールは学校教育の方で行っており、社会教育の方では地域とともに学校を支援する形でかかわっている、今後、次期計画のところで整理させていただきます。 須藤勝子委員 37 ページ。点検評価のところでは概ね順調が増えているのは良いと思うが、「1-2 学ぶ力・自立する力の育成の分野」がやや遅れているという評価が続いているところが気になる。 家庭学習の少なさが、なかなか学力が付かない要因だと思うが、子供たちの生活環境が大きく関わっていると思う。 例えば、スマホの使い過ぎからくる睡眠不足などが考えられるが、我々も含めて、問題点の分析が必要であり、子供の学力を付けていくことが教育委員会の一歩の課題だと思う。
----------	--	---

議題・ 発言・ 結果	高橋正則委員	このあとの議題でも出てくるが、意識調査の結果を見ると、学校は楽しい、授業がわかりやすい、家庭学習をやっていると子供は答える。ただ、実際成果は出てないところを見ると、自己評価が甘いんだなと感じられる。 結局は自分を律することができていないし、自分をコントロールできてないんだなと感じている。
	小野寺教育長	やはりこういった評価の結果を公表していくわけですから、しっかりと保護者の方にも見ていただいて、家で子供と話し合っていただくとか、積極的に情報収集してもらって、実際に各家庭で取り組んでもらう手立てを考えていかなければならないと思います。 非常に難しいことなんです、危機感や切実感というのを訴えていかなければならないと思っています。 そして、委員皆様方からも助言等いただきながら、これからの展開を深めていければと思います。
	小野寺教育長	ほかにご質問はありませんか。 （「なし」の声あり）
	小野寺教育長	ご質問がないようですので、報告第 18 号「登米市教育委員会の教育行政に関する点検及び評価について」は、以上とします。
	小野寺教育長	ここで 3 時 57 分まで休憩とします。
	小野寺教育長	再開いたします。 日程第 3、議案第 23 号「令和 7 年度登米市一般会計補正予算（第 4 号）に対する意見聴取について」を上程します。
	小野寺教育長	事務局から説明をお願いします。
	新田教育部長	（議案朗読）
	新田教育部長	（全体概要を別添資料に基づき説明）
	各課長、所長	（議案内容を別添資料に基づき説明）
	小野寺教育長	事務局の説明が終わりました。ご質問はありませんか。
	須藤勝子委員	文化財補助金が減額になったのは、予定事業の延期や中止などが影響しているのか。
	沼田文化財文化振興課長	事業の中止や延期等ではなく、県の内示により補助金が減額となったという内容です。
	小野寺教育長	ほかにご質問はありませんか。 （「なし」の声あり）
	小野寺教育長	ご質問がないようですので、議案第 23 号「令和 7 年度登米市一般会計補正予算（第 4 号）に対する意見聴取について」は、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

議題・ 発言・ 結果		(「異議なし」の声あり)
	小野寺教育長	ご異議ないようですので、議案第 23 号「令和 7 年度登米市一般会計補正予算(第 4 号)に対する意見聴取について」は、原案のとおり決定することとします。
	小野寺教育長	次に、課長等報告に入ります 課長等報告(1)「公益財団法人登米文化振興財団の経営状況について」、事務局より説明願います。
	沼田文化財文化振興課長	(報告内容を別添資料に基づき説明)
	小野寺教育長	事務局の説明が終わりました。ご質問はありませんか。
	高橋正則委員	補助金などが入って黒字経営となっているということでもいいのか。
	沼田文化財文化振興課長	指定管理料、事業収入等で経営しており、結果的に赤字はなく、健全な状況で経営しております。
	小野寺教育長	ほかにご質問はありませんか。
		(「なし」の声あり)
	小野寺教育長	ご質問がないようですので、課長等報告(1)「公益財団法人登米文化振興財団の経営状況について」は、以上といたします。
	小野寺教育長	以上で議案は全て終了しました。 それでは、次回の教育委員会定例会議の開催日程についてお願いします。
	阿部次長兼教育総務課長	今回は、令和 7 年 9 月 26 日(金)午後 2 時 30 分の開催でお願いしたいと思います。
	小野寺教育長	次回、定例会議は、令和 7 年 9 月 26 日(金)に行うことにご異議ありませんか。
その他		(「異議なし」の声あり)
	小野寺教育長	ご異議がないようですので、 次回の定例会議の日程は令和 7 年 9 月 26 日(金)に行うことで決定します。
	小野寺教育長	午後 4 時 11 分、閉会を宣言します。 大変ご苦勞様でした。
	その他	以下の 4 件について、資料に基づいて事務局から説明し、内容を確認していただきました。 (1)「7 月生徒指導状況について」 (2)「全国学力学習状況調査結果について」

- (3)「第 34 回河北レガッタ 2000 の開催について」
(4)「第 73 回特別企画展「色あせない石ノ森章太郎の世界展」について」

散会時間は、午後 4 時 3 5 分

上記記録は正確であることを認め、ここに署名する。

令和 7 年 9 月 日

会議録署名委員

委 員

印

委 員

印